別記様式（第４条関係）

会　　議　　録

会議の名称	令和元年度第１回宍粟市地域包括支援センター運営協議会	
開催日時	令和元年６月 25 日（火）　13：30～15：00	
開催場所	宍粟市役所　本庁舎　３階　庁議室	
議長（委員長・会長）氏名	垣尾会長	
委員氏名	（出席者） 垣尾委員・尾下委員・縣委員・ 西川委員・春名委員・堀田委員・ 大路委員・上田委員・ 栗林委員・振角委員・福原委員・ 森元委員・名畑委員・	（欠席者） 舩曳委員・伊藤委員・千本委員 上月委員
事務局氏名	（健康福祉部）　世良部長、 （一宮保健福祉課）前田課長 （波賀保健福祉課）藤井課長 （千種保健福祉課）村上課長 （介護福祉課）　小椋課長、有元副課長兼介護保険係長、 栗山副課長兼包括支援係長、高田主任保健師、 大砂主任保健師、中川主事、 取越認知症地域支援推進員	
傍聴人数	０人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） ・平成３０年度宍粟市地域包括支援センター事業実績について ・令和元年度宍粟市地域包括支援センター事業について ①　保険者機能強化推進交付金事業について ②　高齢者声かけ模擬訓練（案）について ③　自治会別地域カルテについて ・災害時要援護者（要配慮者）支援に関するモデル事業について	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認 （記名押印）	（委員長等） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞	

（会議の経過）

発言者	課題・発言内容
事務局	開会 事前配布資料の確認
事務局	部長あいさつ 第１回の運営協議会。まだ梅雨入りしておらず、梅雨末期の豪雨にならないか心配である。昨年の豪雨災害で被害を受けたせせらぎ公園もそのままである。災害支援として要援護者のモデル事業も実施します。最近は高齢者の事故や事件が多発している。引きこもり者への対応として、当事者に寄り添った対応が大事である。いろいろなご意見をお聞かせください。
委員	会長あいさつ さわやかな天気になりました。昨年の今頃は、熱中症らしき方が医院に多く来られていた。普段の診療の中で、地域包括支援センターが進めているいきいき百歳体操に行って体操をしているという声が聞かれ、テレビ・新聞等でも言われているように体操だけでなく、人との関わりの場としてふれあいや助け合いができ、とても良いことだと思う。包括が取り扱う事業は多くのことがあるが、１つ１つ解決していきましょう。
委員	委員紹介　新たな委員として、２名の委員より挨拶
事務局	これからは会長に議事進行をお願いします。
委員	協議事項、事務局から説明をお願いします。
事務局	（１）平成３０年度宍粟市地域包括支援センター事業実績（資料１）説明 地域包括設置状況・職員配置・各会議や研修会、相談実績等の報告
委員	続いて、協議事項の（２）をお願いします。
事務局	（２）令和元年度宍粟市地域包括支援センターの事業について ①保険者機能強化推進交付金事業について（資料２）説明 771 万 9000 円の基金がある。介護人材育成で２つの事業をおこなっています。 １）　介護支援専門員実務研修受講試験対策講座の開催 12 回コースで過去問と模擬テストを実施します。 講義は兵庫県介護支援専門員協会宍粟支部に委託しています。 ２）　介護職場の体験セミナーの開催 事業所への依頼が出来た。今後、対象者へ募集をかけます。

委員	ここまでのところで何か質問・ご意見はありますか。 この基金は、他に何に使いますか？また何年かけて使用しますか？
事務局	この基金は重症化予防のために使用します。事業によって年数も変わってきます。認知症啓発事業「認知症は怖くない」のＰＲ動画もこの基金で作成しています。 動画鑑賞 この動画をしそうチャンネルへ放映してよろしいですか。
委員	承認
事務局	② 高齢者声かけ模擬訓練（案）について（資料３）説明 　地域住民や関係機関が認知症を正しく理解し、地域で支え見守る意識を持つことで、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指します。12 月上旬の休みの日で、自治会住民が対象で、旧山崎町の自治会（大歳町、伊沢町、紺屋町は返事あり）近隣の自治会に声をかけています。協力機関として、記載されている機関以外にも、社会福祉協議会や介護支援専門員にもお願いしたい。 すでに実施した市町では、町で徘徊している人に、どのような声をかければいいか判らなかったところ、訓練後は声のかけ方等がよく判ったとの感想が聞かれた。 ③ 自治会別地域カルテについて（資料４）説明 　生活支援コーディネーターの活動報告。今年度は、自治会別地域カルテ（部外秘）の作成を進めている。住民の困り事を集めて、施策
委員	ここまでで、何か質問・ご意見はありますか。
委員	女性部長とは何です？地域カルテの中の役員構成に消防の方を入れてはどうか。
事務局	以前の婦人会をイメージしている。追加をしていきたい。
委員	社会資源とはどのようなものを言うのか。
委員	地域の中にある食事の支援ができるサービスであったり、買い物の支援など、生活の支援ができるものを想定している。

委員	他にご意見は無いですか？ それでは、このように進めてください。
事務局	昨日、福祉委員の会議があり、困り事の調査があったので、紹介をお願いします。
委員	昨年度、社会福祉協議会がおこなったアンケート調査では、各町によって困り事の順位が違っていた。北部では、空き家対策、買物問題、移動手段問題があがってきた。
委員	高齢化率も町によって違う。北部が高齢化が進んでいると思っていたが、蔦沢の奥が高くて驚いた。
委員	小地域福祉活動の中の福祉連絡会では、福祉委員（700 人）の地域見守り会議やふれあい喫茶、ふれあいサロンでも地域の困り事を話し合ってくださいとお願いし、記録をあげてもらいます。地域カルテに落とし込む内容になっている。
委員	他に感想等ありますか。
委員	地域の中で、地域の一員として協力できることをやっていきたい。
委員	高齢者の方の入院が増え、認知症の方も増えてきている。病院内でも、老々介護を目にするようになった。心不全で夫が入院すると認知症の妻が在宅で生活できないのでレスパイト入院する。何度も再入院が重なるようであれば、事前に家族と相談し、妻の行先を検討する必要も出てきた。認知症の理解を病院職員も深めていかなくてはならない。
委員	認知症に限らず、ギリギリで生活している人も多い。片方が倒れると生活が成り立たない人もある。地域の繋がりを作っておらず、支援者がいなくて「どうしよう」となる。いざとなってから動くのでは無く、その前に地域の人と良い関係をもったり、公的なサービスに繋がっておく方がいい。
委員	デイサービスで利用されている方の家族から、少人数で介護の相談や家族同士で話し合える場がほしいと提案があり、家族支援として運営協議会とは別に会を催したいと考えている。

委員	訪問介護では、連れ合いが入院した際に、在宅に残された人にヘルパーが入ることがある。免許証を返納し、買物に困っている人に買物支援に入る事も多い。外出支援もあるが、自分で行けない人もいるため、介護保険で買い物支援ができればいいのだが。
委員	介護保険会計は、予算の枠がいっぱい。すべて介護保険に頼らず、自助・共助で。
委員	施設でも認知症が重症化している。地域の方に協力していただくために、ふれあい喫茶に出向いて施設から口腔ケアや相談にのっている。家族の方の介護者教室を考えている。
委員	診察の中で、認知症の方が来られたらどのように対応していますか。
委員	認知症の方もいます。ご家族の了解を得て４人掛かりで対応することもある。認知症の方は家族と同伴で来院するので、病院にかかっていない方はいない。どこかの病院にかかっていると思う。
委員	歯科医院から地域包括へ連絡が入ったこともあったが・・・
委員	皆さん、病院にかかっている人だと思います。
委員	家族は認知症を隠そうと思ったら隠せる。いろいろな場面で（認知症の方を）発見し、（適切な支援に）繋がるといい。
事務局	４．その他 災害時要援護者（要配慮者）支援に関するモデル事業について（資料５）説明 宍粟市では９月１日の防災訓練に合わせて、モデル事業を開催します。避難行動要支援者４名（今まで周囲にも伝えていなかったが、これをきっかけに支援をお願いしたいと協力される）下町にあるデイサービス恋も協力を引き受けてくれた。このモデル事業後、他自治会にも計画してもらうよう働きかけると思います。計画と見直し等取り組む予定です。（報告）
委員	阪神淡路大震災の時、阪神間の施設で働いていた。震災後、３～４日で自衛隊の方が、ガレキの下から連れ出された寝たきりの方を施設に送ってこ

	られた。オシメも取り換えられていない状態で手にはおにぎりとお茶を持たされて担架で運ばれていたのが印象的だった。施設に入っている人は、動けない人が多いので、事前の対応が必要だと感じた。
委員	去年も大きな災害があった。このモデル事業を通して、事業が進められたらいいと思います。
事務局	保険者機能強化推進交付金の使い道を考えたいと思います。
委員	委員閉会あいさつ 高齢者がいきいきと暮らせる街になるように、包括中心に取り組んでほしい。7／14　学術講演会の案内です。入れ歯を入れてよく噛むことで、唾液も出る、脳への刺激がある、また、唾液ががん予防にもなるなどの話になると思います。ご参加をお願いします。 これをもちまして終了いたします。